

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	CKD 患者に対する ST 合剤投与の有効性及び安全性の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 薬剤部 藤野優希
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2029 年 3 月 31 日
対象者	2022 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に聖隷浜松病院呼吸器内科に通院または入院した間質性肺炎患者でステロイドによる治療が行われた患者さん。
研究の意義・目的	HIV、ステロイド使用、固形臓器移植、血液腫瘍における PCP 予防として、ST 合剤が用いられています。ST 合剤は腎機能障害患者で半減期延長が報告されており、添付文書によると CCr15-30 では通常の半量に減量すること、CCr15 未満では投与しないことが推奨されております。一方で、腎機能低下患者における ST 合剤減量の妥当性についての報告は不十分です。本研究では、CCr15 未満、CCr15-30、CCr30 以上の患者に対して ST 合剤を使用している場合において、ST 合剤の投与量を確認し、PCP 発症、副作用発症率に差があるのかを検証することによって、その妥当性を評価することを目的としました。本研究によって、腎機能低下患者の PCP 予防における ST 合剤の至適投与量を検討することで、今後の投与設計の指標の一つとすることを目的としております。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 性別、年齢、身長、体重、血清 K、血清 Na、血清 Cre、eGFR、白血球、赤血球、Hb 値、血小板、好中球数、好酸球数、AST、ALT、 γ -GTP、CK、溶血、皮疹、併用薬、ST 合剤の投与量、投与期間、診断名 EZR にて統計解析を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 藤野優希 TEL:053-474-2222(代表) 薬剤部 9:00~17:00 平日